

「沖縄子ども白書」にみる 「希望」と「宣言」

◆オンライン開催◆
Zoomウェビナー



『沖縄こども白書』は、復帰50年という時代の節目に、子どもたちの幸せを願う人々をつなぎ、沖縄の子どもたちの現状を明らかにし、今後の課題・展望を探る一助とするために編まれました。

沖縄には、子どもたちや家族の暮らしに他県と比べ大きな格差や制限が存在します。多くの米軍基地が子どもたちの日常生活の場に隣接し危険にさらされている現状や、子どもの貧困対策は喫緊の課題です。一方で、県民の子どもの問題に対する関心は高く、子どもの貧困に心を痛めている方は多いと思われます。

本講座では、『沖縄子ども白書』を紐解き、子どもたちの声に寄り添い、今後の沖縄の子どもたちのために何が出来るか、皆様と一緒に考えていきたいと思ひます。

多くの皆様のお申し込み、お待ちしております。

◆視聴無料(9/29(木)までに要事前申込)◆

2022年
10月1日(土)
13:30~16:00

◆◆司会◆◆

島村 聡
(沖縄大学福祉文化学科
教授・地域研究所所長)

那覇市役所での福祉実務経験がある。県内の子どもたちの居場所の抱える課題や貧困対策支援員の実情調査・提言等を行っている。



◆◆登壇者◆◆

山城 康代 (一般社団法人りあん代表理事)

みどり町児童センター館長、うるま市3児童館(学童含む)b&gうるまわいどを運営。児童館で子ども食堂・中学生の居場所づくり・障がいの子を持つ親の会を開催。沖縄子ども未来プロジェクト委員。うるま市子どもの貧困対策推進計画策定委員。

北上田 源 (琉球大学 教育学部 准教授)

大学在学中から「平和ガイド」の活動を始めるとともに、フリースクールの教員として多様な背景を持つ子どもたちの教育に携わる。2014年からは県内公立学校に通う外国ルーツの子どもたちの教育について考える沖縄県子ども日本語教育研究会の事務局を務める。2010年以降琉球大学・沖縄国際大学・沖縄大学の非常勤講師、2021年から現職。



◆◆プログラム◆◆

13:30~13:45

講座趣旨説明(島村 聡)

13:45~14:25

「子どもの身近に遊び・仲間と出会える居場所を」
(山城 康代)

~休憩10分~

14:35~15:15

「基地のとなりで暮らす子どもたち」(北上田 源)

15:15~16:00

質疑応答

※講座終了後、簡単なアンケートにご協力ください。

申込先【GoogleフォームQRコード】

●氏名・連絡先・所属等を入力の上送信してください。

Wi-Fi等ネット接続ができる環境で、PC・スマホ・タブレット等から視聴できます。お申し込みされた方には、講座開始前日までに、接続先の情報(ログインURL)をメールでご案内します。前日17時までに案内メールが届かない場合は下記までお問い合わせください。



今後の講座案内をご希望の方は、地域研究所LINE友達申請をお願いします。

問い合わせ先: 沖縄大学地域研究所(沖縄県那覇市国場405)

窓口: 平日8:30~17:15(12:00~13:00閉室)

Tel: 098-832-5599 Mail: chiken-staff@okinawa-u.ac.jp